

## 産業衛生技術部会幹事会・総会 資料

### 平成26年度第1回産業衛生技術部会幹事会

日時：平成26年5月23日(金) 17:00～18:00

会場：岡山コンベンションセンター4階 401会議室

### 平成26年度産業衛生技術部会総会

日時：平成26年5月24日(土) 14:30～15:30

会場：岡山コンベンションセンター2F 展示ホール

### 産業衛生技術部会奨励賞（中明賞）受賞者（総会后授賞式）

中原 浩彦（なかはら ひろひこ）

EMGマーケティング合同会社 医務産業衛生部 シニアインダストリアルハイジニスト川崎工場統括

#### 学歴・職歴

平成4年 東京大学大学院工学系研究科卒業

同年 東燃株式会社（現東燃ゼネラル石油株式会社）に入社、同社総合研究所で勤務

2009年より 医務産業衛生部のインダストリアルハイジニスト（IH）として

東燃ゼネラル石油川崎工場において、健康障害防止のためのIH業務を統括

#### 各活動（2013年～）

・学会発表「定性評価と個人ばく露測定を組み合わせた化学物質のリスク評価結果の総括」日本産業衛生学会(2013年5月)

・講演「欧米の実施手法の実際(個人ばく露検討委員会中間報告)」第16回産業衛生技術専門研修会(2013年5月)

・講演「産業現場における呼吸用保護具～企業事例を中心に～」第17回産業衛生技術専門研修会(2013年9月)

・雑誌記事「VDT作業における目の健康障害を防止するためのオンライン教育」（「心とからだのオアシス」(中災防)2014年春号)

中村 憲司（なかむら けんじ）

独立行政法人 労働安全衛生総合研究所 環境計測管理研究グループ 研究員

#### 研究テーマ

作業環境中の粉じん及び石綿の測定方法及びばく露防止対策

東日本大震災におけるがれき処理作業時の石綿ばく露防止のための測定及び対策

東日本大震災における除染作業時の内部被ばく防止のための測定及び対策

#### 学歴・職歴

平成11年 早稲田大学理工学部環境資源工学科卒業

平成18年 東京大学大学院理学系研究科地球惑星科学専攻博士課程修了 博士(理学)

平成18年 財団法人労働科学研究所 協力研究員

平成19年 早稲田大学創造理工学部環境資源工学科 助手

平成23年 独立行政法人労働安全衛生総合研究所 任期付研究員

平成26年 独立行政法人労働安全衛生総合研究所 研究員(現在に至る)

#### 学会活動

日本産業衛生学会(代議員、関東地方会選挙管理委員、産業衛生技術部会幹事)、日本労働衛生工学会、大気環境学会、日本大気化学会

## 議事

- I. 新任幹事について
- II. 平成25年度産業衛生技術部会事業報告
- III. 平成26年度産業衛生技術部会事業計画
- IV. その他

### I. 新任幹事について

森本 寛訓（もりもとひろみち）

川崎医療短期大学 講師

博士(臨床心理学)

研究テーマ：対人援助サービス従事者の職業性ストレス研究

学歴・職歴：

2002年3月 川崎医療福祉大学医療福祉学研究科臨床心理学専攻 博士後期課程単位取得

2002年4月- 2005年3月 川崎医療福祉大学助手

2006年4月- 現在 川崎医療短期大学講師

### II. 平成25年度産業衛生技術部会事業報告

#### 1. 産業衛生技術部会幹事会の開催

平成25年度 第1回：平成25年5月16日(木) 12:00～13:00、ひめぎんホール別館1階第12会議室

第2回：平成25年9月27日(金) 13:00～14:00、名古屋国際会議場231会議室

#### 2. 産業衛生技術専門研修会の開催

##### ・第16回産業衛生技術専門研修会

平成25年5月16日(木) 13:00～15:00 ひめぎんホール別館1階第13会議室

テーマ：個人ばく露測定の作業場での活用について、座長：中明 賢二（麻布大学）

##### 1) 「個人ばく露測定に関する近年の国内の動き」

山田 憲一（中央労働災害防止協会 労働衛生調査分析センター 副所長）

##### 2) 「産業衛生技術部会個人ばく露測定検討委員会の中間報告」

橋本 晴男（EMGマーケティング合同会社 医務産業衛生部 部長）

##### 3) 「欧米の実施手法の実際」 中原浩彦(EMGマーケティング合同会社医務産業衛生部シニアインダストリアルハイジニスト)

##### ・第17回産業衛生技術専門研修会

平成25年9月26日(木) 18:00～20:00 名古屋国際会議場436会議室

テーマ：「産業現場における呼吸用保護具」（フィットテスト研究会との共同開催）、参加 25名(定員)

プログラム：講演1. 「産業現場における呼吸用保護具」田中茂（十文字学園女子大）

2. 「産業現場における呼吸用保護具使用の実際」 中原浩彦（EMGマーケティング）

実習 各種呼吸用保護具の着用およびフィットテスト（フィットテスト研究会）

#### 3. 産業衛生技術フォーラムの開催

平成25年5月17日(金) 14:30～16:30、ひめぎんホール3階第6会議室

テーマ：高年齢労働者の転倒災害防止を考える～65歳現役社会を迎えて～

座長：加藤 隆康（グッドライフデザイン）

##### 1) 「体力低下に伴う労働災害の予防についての包括的取り組み例の報告～転倒予防・筋骨格系疾患対策・復職支援～」 乍 智之（JFEスチール(株)西日本製鉄所 労働人事部 倉敷安全衛生室ヘルスサポートセンター）

##### 2) 「高年齢労働者の転倒災害防止のための身体機能改善プログラム」

川越 隆（愛知医科大学医学部衛生学講座，東海ゴム工業（株）人事総務部・ヘルスケア室）

##### 3) 「転倒災害防止のための高年齢労働者の作業管理」 岩根 幹能（一般財団法人和歌山健康センター）

##### 4) 「高年齢労働者の転倒災害防止に有効な手段とは」

大西 明宏（独立行政法人労働安全衛生総合研究所 人間工学・リスク管理研究グループ）

#### 4. 平成25年度産業衛生技術部会総会の開催

平成25年5月17日(金) 16:30～17:00 ひめぎんホール3階第6会議室

産業衛生技術部会奨励賞(中明賞)授賞式：原 邦夫 (帝京平成大学地域医療学部作業療法学科 教授)

#### 5. 第22回産業衛生技術部会大会の開催

平成25年9月27日(金) 14:00～17:00 名古屋国際会議場231会議室、参加：48名

テーマ「化学物質管理」

座長：中元健吾 (日本ガイシ)

講演：1. 「化学物質管理に関する行政の動向」 名古屋俊士 (早大)

2. 「リスク管理にもとづく化学物質管理」 武田繁夫 (武田労働衛生コンサルタント事務所)

3. 「事業場における化学物質管理の実際」 片岡直也 (豊田自動織機)

#### 6. 各委員会の活動

##### (1) 企画運営委員会

第1回：平成25年4月27日(土) 11:00-13:50、早大環境資源工学科会議室

第2回：平成25年7月27日(土) 11:30-13:30、早大環境資源工学科会議室

第3回：平成25年9月26日(木) 15:30-17:30、名古屋国際会議場435会議室

第4回：平成26年3月1日(土) 10:00-13:00、早大環境資源工学科会議室

##### (2) 教育研修委員会

産業衛生技術専門研修会 (第16回および第17回) を開催した。

##### (3) 広報委員会

部会ホームページ、メーリングリストの維持管理および部会メールマガジンの刊行

##### (4) 企業安全衛生グループとの交流委員会

全国衛生管理者協議会等を通じて以下の講師派遣やその広報を行った。

・神津 進 (HOYAグループ 環境・安全衛生グループリーダー) 「「実践から学ぶ衛生管理」熱中症対策、腰痛対策、腰痛対策、VDT作業管理を中心として」 (千葉県労働基準協会連合会)、8月19日

・瀧口 好三 (新日本製鐵(株) 広畑製鐵所 安全環境防災部 安全衛生グループマネージャー) (奈良県労働基準協会)

・小沼 博子 (株)トッパンコミュニケーションプロダクツ 総務部 主任) 「実践から学ぶ衛生管理」 (栃木県労働基準協会連合会)、8月30日

・瀧口 好三 (新日本製鐵(株) 広畑製鐵所 安全環境防災部 安全衛生グループマネージャー) 「健康診断とその事後措置－衛生管理者と産業医の役割について」 (京都衛生管理者協議会)、10月4日

##### (5) 表彰委員会

今年度の中明賞 (産業衛生技術部会奨励賞) 受賞者として中原浩彦氏 (EMGマーケティング)、中村憲司氏 (労働安全衛生総合研究所) を選定した。

##### (6) 4部会コラボレーティング委員会

4部会合同セミナー、リレーワークショップを他部会と共同で開催した。

##### (7) 個人ばく露測定に関する委員会 (平成24、25年度臨時委員会)

昨年度に引き続き、7回の会合 (平25.3/27,5/28,7/23,8/23,9/25,10/31,平26.2/14) を開催して各事項を検討した。また第16回産業衛生技術専門研修会を開催した。

#### 7. 各地方会の活動

##### (1) 北海道地方会

第16回産業医・産業看護・産業技術研修会を、平成25年3月2日に北海道大学学術交流会館大講堂にて開催し、101名が参加した。

##### (2) 東北地方会

第8回産業衛生技術部会を、平成25年7月27日(土)にマリオス (盛岡市) 183会議室にて開催した。

### (3) 関東地方会

- ・第31回関東産業衛生技術部会研修会 参加：55名  
平成25年9月2日(月) 慶應義塾大学医学部 予防医学校舎 3階 講堂  
メインテーマ「統計学の基礎から学ぶ『作業環境評価、個人曝露評価』」  
「統計学の基礎から学ぶ作業環境評価・個人曝露評価」熊谷信二(産医大)  
「リアルタイム測定による粉じん職場の改善」村田克(早稲田大学)  
「個人曝露測定の実測結果から見えること」山田憲一(中災防)
- ・第32回関東産業衛生技術部会研修会 参加：60名  
平成26年1月30日(木) 13:00~17:00 慶應義塾大学医学部 予防医学校舎 3階 講堂  
メインテーマ「労働衛生保護具の適正使用に向けた技術的な動向について」  
「労働衛生保護具に関する最近の動向」田中茂(十文字学園女子大)  
「許容濃度の提案理由の活かし方について」岩澤聡子(慶應大)  
「鉛作業場におけるPAPRの使用例」浅井実篤(古河電池(株)今市事業所)  
「新しいマスク内圧・フィッティングテスター(MNFT)を用いた防護係数測定」渡邊学(重松製作所)  
「フィットテスト研究会の活動について」飯田裕貴子(労働科学研究所)  
「有機ガス用吸収缶の交換時期の推定としての有機溶剤の相対破過比(RBT)の活用」津田洋子(信州大)  
「PAPRの防護係数について」鶴岡俊之(重松製作所)
- ・第33回関東産業衛生技術部会研修会(兼第264回日本産業衛生学会関東地方会例会)  
平成26年2月8日(土)13時-17時(当日大雪のため同年6月28日に順延) 十文字学園女子大学 9417教室  
教育講演「精神栄養学 -精神疾患の新たな治療・予防法としての食事-」  
功刀浩(国立精神・神経医療研究センター神経研究所疾病研究第三部)  
シンポジウム「食生活から心の健康を支援する」
  1. 「食事と調理からのリワーク支援 個別指導、及び集団プログラムの事例から」野口律奈(帝京平成大)
  2. 「職場における食環境と勤労者の食生活」赤松利恵(お茶女大)
  3. 「職場給食に何が求められているか」佐藤愛香(西洋フード・コンパスグループ(株))
  4. ディスカッション

### (4) 東海地方会

- 東海産業衛生技術部会第5回特別企画 参加：28名  
平成25年12月14日(土) 午後1時15分~4時30分 浜松アクトシティー 研修交流センター 402会議室  
講演1「職場における腰痛予防対策指針の改訂について」岩切一幸(労働安全衛生総合研究所)  
2「東日本大震災とアスベスト問題」外山尚紀(東京労働安全衛生センター)

### (5) 近畿地方会

- 平成26年2月9日(日) 13時00分~16時30分 貸会議室 ユーズ・ツウ
- 1) 「上手な会話とアナウンサーの職業とは」元NHKアナウンサー 生熊 雅夫
  - 2) 「作業環境測定に用いられる測定器」新コスモス電機株式会社 浅香 尚民

### (6) 中国地方会・四国地方会

1. 世話人会の開催 第57回中国四国合同産業衛生学会において開催  
平成25年12月7日(土) 11:00~12:50 香川県社会福祉総合センター 6F 第一研修室
2. 研修会の開催 第57回中国四国合同産業衛生学会において開催  
平成25年12月7日(土) 13:00~16:00 香川県社会福祉総合センター 6F 第一研修室

# 収支計算書

平成25年 3月 1日から平成26年 2月28日まで

産業衛生技術部会

科 目	予算額	決算額	差異	摘要
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用益	0	0	0	
基本財産受取利息	0	0	0	
受取会費	0	0	0	
正会員受取会費	0	0	0	
賛助会員受取会費	0	0	0	
購読会員受取会費	0	0	0	
過年度会員受取会費	0	0	0	
事業収益	0	0	0	
協賛金等収益	0	0	0	
投稿超過頁収益	0	0	0	
別刷収益	0	0	0	
登録料収益	0	0	0	
その他事業収益	0	0	0	
受取補助金等	800,000	800,000	0	
受取本部助成金	800,000	800,000	0	
受取国庫助成金	0	0	0	
受取民間助成金	0	0	0	
受取負担金	0	0	0	
受取生活補助金	0	0	0	
受取寄付金	0	0	0	
受取寄付金	0	0	0	
雑収益	1,000	0	1,000	
受取利息	1,000	0	1,000	
雑収益	0	0	0	
経常収益計	801,000	800,000	1,000	
(2) 経常費用				
事業費	790,000	689,580	100,420	
会場費		58,500	-58,500	専門研修会・フォーラム・総会
旅交通費		0	0	
信運搬費		0	0	
印刷製本費		0	0	
消耗品費		0	0	
機関誌印刷費		0	0	
機関誌編集費		0	0	
機関誌発送費		0	0	
広報渉外費		0	0	
諸謝金		0	0	
学会助成金		0	0	
協議会助成金		0	0	
大会研修会助成金		0	0	
大会研修会助成金		0	0	
地方会助成金	240,000	80,000	160,000	地方会部会への助成
委員研究会費	550,000	551,080	-1,080	企画運営委員会、個人ばく露委員会含む
国際交流会費		0	0	
国際交流会費		0	0	
雑費		0	0	
管理費	175,000	106,335	68,665	
給料手当	60,000	60,000	0	
法定福利費		0	0	
退職給付費用		0	0	
総務費		0	0	
理事幹事会費	60,000	91,230	-31,230	幹事会+4部会長会議
役員選定費		0	0	
名簿発行費		0	0	
旅交通費		0	0	
通信用搬送費	5,000	5,000	0	
減価償却費		0	0	
印刷製本費		0	0	
消耗什器備品費		0	0	
消耗品費	15,000	15,000	0	
会報費		0	0	
広報渉外費		0	0	
賃借料		0	0	
租税公課		0	0	
委託費		0	0	
雑費	35,000	15,105	19,895	
経常費用計	965,000	795,915	169,085	
評価損益等調整前当期経常増減額	-164,000	4,085	-168,085	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	-164,000	4,085	-168,085	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	-164,000	4,085	-168,085	
一般正味財産期首残高	896,564	896,564	0	
一般正味財産期末残高	732,564	900,649	-168,085	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	732,564	900,649	-168,085	

# 収支計算書

平成25年 3月 1日から平成26年 2月28日まで

第22回産業衛生技術部会大会

科 目	(H24年)		予 算 額	(H25年)		決 算 額	差 異	摘 要
	準備年度	開催年度		準備年度	開催年度			
I 一般正味財産増減の部								
1. 経常増減の部								
(1) 経常収益								
基本財産運用利益	0	0	0	0	0	0	0	
基本財産受取利息	0	0	0	0	0	0	0	
受取金費	0	0	0	0	0	0	0	
正会員受取会費	0	0	0	0	0	0	0	
賛助会員受取会費	0	0	0	0	0	0	0	
購読会員受取会費	0	0	0	0	0	0	0	
過年度会員受取会費	0	0	0	0	0	0	0	
事業収益	0	0	0	0	0	0	0	
協賛金等収益	0	0	0	0	0	0	0	
投稿超過頁収益	0	0	0	0	0	0	0	
別刷収益	0	0	0	0	0	0	0	
登録料収益	0	0	0	0	0	0	0	
その他事業収益	0	0	0	0	0	0	0	
受取補助金等	0	0	0	0	200,000	200,000	-200,000	この区分を ご入力ください
受取本部助成金	0	0	0	0	200,000	200,000	-200,000	
受取国民助成金	0	0	0	0	0	0	0	
受取民間助成金	0	0	0	0	0	0	0	
受取負担金	0	0	0	0	0	0	0	
受取活動助成金	0	0	0	0	0	0	0	
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	
受取寄付金	0	0	0	0	0	0	0	
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	
受取利息	0	0	0	0	0	0	0	
雑収益	0	0	0	0	0	0	0	
経常収益計	0	0	0	0	200,000	200,000	-200,000	
(2) 経常費用								
事業費	0	0	0	0	50,530	50,530	-50,530	
会場費	0	0	0	0	46,570	46,570	-46,570	
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	
機関誌印刷費	0	0	0	0	0	0	0	
機関誌編集費	0	0	0	0	0	0	0	
機関誌送外費	0	0	0	0	0	0	0	
広報渉外費	0	0	0	0	0	0	0	
諸謝金	0	0	0	0	0	0	0	
学協会助成金	0	0	0	0	0	0	0	
協議会助成金	0	0	0	0	0	0	0	
大会研修助成金	0	0	0	0	0	0	0	
地方会助成金	0	0	0	0	0	0	0	
委員研究会費	0	0	0	0	0	0	0	
委託研究会費	0	0	0	0	0	0	0	
国際交際流守費	0	0	0	0	0	0	0	
開発交保費	0	0	0	0	0	0	0	
雑費	0	0	0	0	3,960	3,960	-3,960	
管理費	0	0	0	0	630	630	-630	
給料手当	0	0	0	0	0	0	0	
法定福利費	0	0	0	0	0	0	0	
退職給付費用	0	0	0	0	0	0	0	
総務費	0	0	0	0	0	0	0	
理事幹事会費	0	0	0	0	0	0	0	
役員改選費	0	0	0	0	0	0	0	
名簿発行費	0	0	0	0	0	0	0	
旅費交通費	0	0	0	0	0	0	0	
通信運搬費	0	0	0	0	0	0	0	
減価償却費	0	0	0	0	0	0	0	
印刷製本費	0	0	0	0	0	0	0	
消耗什器備品費	0	0	0	0	0	0	0	
消耗品費	0	0	0	0	0	0	0	
会報費	0	0	0	0	0	0	0	
広報渉外費	0	0	0	0	0	0	0	
賃借料	0	0	0	0	0	0	0	
租税公課	0	0	0	0	0	0	0	
委託費	0	0	0	0	0	0	0	
雑費	0	0	0	0	630	630	-630	
経常費用計	0	0	0	0	51,160	51,160	-51,160	
評価損益等調整前当期経常増減額	0	0	0	0	148,840	148,840	-148,840	
評価損益等計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常増減額	0	0	0	0	148,840	148,840	-148,840	
2. 経常外増減の部								
(1) 経常外収益								
経常外収益計	0	0	0	0	0	0	0	
(2) 経常外費用								
経常外費用計	0	0	0	0	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	0	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	0	0	0	0	148,840	148,840	-148,840	
一般正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	
一般正味財産期末残高	0	0	0	0	148,840	148,840	-148,840	
II 指定正味財産増減の部								
当期指定正味財産増減額	0	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	0	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	0	0	0	0	
III 正味財産期末残高	0	0	0	0	148,840	148,840	-148,840	

### III. 平成26年度事業計画案

#### 1. 平成26年度産業衛生技術部会体制（敬称略）

部会長：加藤隆康（グッドライフデザイン）

副部会長：田中 茂（十文字学園女子大）、橋本晴男（EMGマーケティング）

監事：中明賢二（麻布大）

幹事（\*＝地方会担当）：

<北海道> 武田秀勝\*（北星学園大）

<東北> 板井一好（岩手医科大）、進藤 拓\*（東北大）

<関東> 大西明宏（安衛研）、落合孝則（東工大）、岸田孝弥（労研）、近藤充輔（近藤労働衛生コンサルタント事務所）、武田繁夫（武田労働衛生コンサルタント事務所）、田中 茂\*（十文字学園女子大）、中明賢二（麻布大）、中村憲司（安衛研、経理担当）、名古屋俊士（早稲田大）、橋本晴男（EMGマーケティング）、

原 邦夫（帝京平成大）、宮内博幸（産業保健協会）、村田 克（早稲田大、総務担当）、山野優子（昭和大）

<北陸甲信越> 谷井秀治\*（金沢大）

<東海> 加藤隆康（グッドライフデザイン）、城 憲秀\*（中部大）、土屋真知子（静岡県産業環境センター）、中元健吾（日本ガイシ）、那須民江（中部大）

<近畿> 河合俊夫\*（中災防大阪）、長見まき子（関西福科大健康福祉学部）

<中国> 田口豊郁\*（川崎医療福祉大）、森本寛訓（川崎医療短大）

<四国> 須那 滋\*（香川県立保健医療大）

<九州> 伊藤昭好\*（産業医科大）、大藪貴子（産業医科大）、保利 一（産業医科大）

委員会（委員長）：

企画運営委員会（村田 克）

教育研修委員会（宮内博幸）

広報委員会（大西明宏）

企業安全衛生グループとの交流委員会（田中 茂）

表彰委員会（名古屋俊士）

4部会コラボレーティング委員会（落合孝則）

事務局：村田 克、宮内博幸、中村憲司

#### 2. シンポジウム「個人ばく露測定の実施のためのガイド（個人ばく露測定に関する委員会報告）」の開催

平成26年5月22日（木）16:10～18:10 岡山コンベンションセンター2階 展示ホール

座長：名古屋 俊士（早大）

1. 「個人ばく露測定に関する委員会」が提言する個人ばく露測定の進め方 山田 憲一（中災防）

2. 「個人曝露評価における技術的ポイント」熊谷 信二（産医大）

3. 「本「個人ばく露測定委員会」が提言する個人ばく露測定方法の意義－技術面における特長，および社会制度面での波及効果」橋本 晴男（EMGマーケティング）

#### 3. 産業衛生技術部会幹事会の開催

第1回：平成26年5月23日（金）17:00～18:00 岡山コンベンションセンター4階 401会議室

第2回：平成26年9月25日（木）金沢市文化ホール（詳細未定）

#### 4. 第18回産業衛生技術専門研修会の開催

平成26年5月23日(金) 10:10～12:10 岡山コンベンションセンター4階 407会議室

テーマ: 岡山地元企業の労働衛生管理の実際

担当: 中国地方会代表幹事 田口 豊郁 (川崎医療福祉大学)

1. 「造船業の労働衛生管理」岩崎 喜久男 (岩崎労働安全コンサルタント事務所)
2. 「自動車工業の労働衛生管理」森尾 眞介 (三菱自動車工業株式会社水島製作所)
3. 「岡山産業保健推進センターが実施した労働衛生調査研究のまとめ」西出 忠司 (岡山産業保健総合支援センター相談員)

#### 5. 産業衛生技術部会総会の開催

平成26年5月24日(土) 14:30～15:30 岡山コンベンションセンター2階 展示ホール

産業衛生技術部会奨励賞(中明賞)授賞式: 中原浩彦氏 (EMGマーケティング)、中村憲司氏 (労働安全衛生総合研究所)

#### 6. 産業衛生技術フォーラムの開催

平成26年5月24日(土) 15:30～17:30 岡山コンベンションセンター2階 展示ホール

テーマ: 作業環境管理におけるリスクコミュニケーション

1. 「化学物質及び作業環境測定評価結果等の周知に関する法令改正の経緯」名古屋 俊士 (早大)
2. 「事業場における作業環境管理の「見える化」の現状と課題について」田吹光司郎(西日本産業衛生会)
3. 「作業環境管理におけるリスクコミュニケーション 産業医の立場から」中元 健吾 (日本ガイシ)

#### 7. 第24回産業医・産業看護全国協議会 (平成26年9月24日(水)～27日(土)、金沢市) との同時開催行事

##### 1) 第23回産業衛生技術部会大会 (産業衛生技術シンポジウム) の開催

テーマ案: 化学物質のリスクアセスメントの実際

演題: 法改正の内容と背景、コントロールバンディング、簡易測定によるリスク評価 (演者交渉中)

##### 2) 第19回産業衛生技術専門研修会

「職域における感作性物質」佐藤一博先生 (福井大学)

##### 3) シンポジウム

テーマ: 衛生管理者1名の事業所でもできる有害物管理

講演案 1. 過去の事例から学ぶ: 有機溶剤中毒や石綿、胆管がんの事例を通した解説

2. 作業環境測定結果をどう使うか: 単に管理区分だけでなく、特殊検診の結果の見方などについて
3. 化学物質の管理: SDSを利用した、作業員でもできる分かりやすい方法

##### 4) 部会合同企画行事

- ・4部会合同セミナー
- ・リレーワークショップ

#### 8. 各委員会の活動

##### (1) 企画運営委員会 (委員長: 村田克・早大)

委員会を4回程度開催し、各部会事業の企画運営を行う。

##### (2) 教育研修委員会 (委員長: 宮内博幸・産業保健協会)

産業衛生技術専門研修会 (第18回および第19回) を開催する。

##### (3) 広報委員会 (委員長: 大西明宏・安衛研)

部会ホームページ、メーリングリストの維持管理および部会メールマガジンを刊行する。

##### (4) 企業安全衛生グループとの交流委員会 (委員長: 田中茂・十文字学園女子大)

全国衛生管理者協議会等を通じて講師派遣やその広報を行う。

##### (5) 表彰委員会 (委員長: 名古屋俊士・早大)

中明賞 (産業衛生技術部会奨励賞) 受賞者2名を選定する。

##### (6) 4部会コラボレーティング委員会 (委員長: 落合孝則・東工大)

4部会合同セミナー、リレーワークショップを他部会と共同で開催する。





# 収支予算書

平成26年 3月 1日から平成27年 2月28日まで

第23回産業衛生技術部会大会

科 目	予算額	前年度予算額	増 減	摘要
I 一般正味財産増減の部				
1. 経常増減の部				
(1) 経常収益				
基本財産運用利益	0	0	0	
基本財産受取利息	0	0	0	
受取会費	0	0	0	
正会員受取会費	0	0	0	
賛助会員受取会費	0	0	0	
購読会員受取会費	0	0	0	
過年度会員受取会費	0	0	0	
事業収益	0	0	0	
協賛金等収益	0	0	0	
投稿超過貢献収益	0	0	0	
別録印刷収益	0	0	0	
その他の事業収益	0	0	0	
受取補助金等	400,000	400,000	0	
受取本国庫助成金	400,000	400,000	0	
受取国民間助成金	0	0	0	
受取負担金	0	0	0	
受取活動費	0	0	0	
受取寄付金	0	0	0	
受取利息	0	0	0	
雑収益	0	0	0	
経常収益計	400,000	400,000	0	
(2) 経常費用				
事業費	220,000	220,000	0	
会場費	50,000	50,000	0	
旅費	0	0	0	
通信費	0	0	0	
印刷製本費	20,000	20,000	0	
消耗品費	0	0	0	
機関誌印刷集送費	0	0	0	
機関誌編集費	0	0	0	
機関誌発行費	0	0	0	
広報渉外費	0	0	0	
諸学会助成金	150,000	150,000	0	
協議会助成金	0	0	0	
大会研修会助成金	0	0	0	
大部会助成金	0	0	0	
地方会助成金	0	0	0	
委員研究会費	0	0	0	
研究委託費	0	0	0	
国際交流流守費	0	0	0	
国開発費	0	0	0	
雑管理費	120,000	120,000	0	
給料手数料	20,000	20,000	0	
法定福利費	0	0	0	
退職給付費用	0	0	0	
総務費	0	0	0	
理事幹事会費	30,000	30,000	0	
役員改選費	0	0	0	
名簿発行費	0	0	0	
旅費	0	0	0	
通信運搬費	5,000	5,000	0	
減価償却費	0	0	0	
印刷製本費	0	0	0	
消耗什器備品費	20,000	20,000	0	
消耗品費	0	0	0	
会報渉外費	30,000	30,000	0	
広報渉外費	0	0	0	
賃借料	0	0	0	
租税公課	0	0	0	
委託託費	15,000	15,000	0	
雑管理費	0	0	0	
経常費用計	340,000	340,000	0	
評価損益等調整前当期経常増減額	60,000	60,000	0	
評価損益等計	0	0	0	
当期経常増減額	60,000	60,000	0	
2. 経常外増減の部				
(1) 経常外収益				
経常外収益計	0	0	0	
(2) 経常外費用				
経常外費用計	0	0	0	
当期経常外増減額	0	0	0	
当期一般正味財産増減額	60,000	60,000	0	
一般正味財産期首残高	120,000	60,000	60,000	
一般正味財産期末残高	180,000	120,000	60,000	
II 指定正味財産増減の部				
当期指定正味財産増減額	0	0	0	
指定正味財産期首残高	0	0	0	
指定正味財産期末残高	0	0	0	
III 正味財産期末残高	180,000	120,000	60,000	